

四半期報告書

(第20期第3四半期)

自 2017年10月1日

至 2017年12月31日

S B I ホールディングス株式会社

東京都港区六本木一丁目6番1号

目 次

表 紙	頁
第一部 企業情報	1
第1 企業の概況	1
1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	1
第2 事業の状況	2
1 事業等のリスク	2
2 経営上の重要な契約等	2
3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	2
第3 提出会社の状況	4
1 株式等の状況	4
(1) 株式の総数等	4
(2) 新株予約権等の状況	4
(3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等	4
(4) ライププランの内容	4
(5) 発行済株式総数、資本金等の推移	4
(6) 大株主の状況	4
(7) 議決権の状況	5
2 役員の状況	5
第4 経理の状況	6
1 要約四半期連結財務諸表	7
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	7
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 要約四半期連結損益計算書	8
要約四半期連結包括利益計算書	10
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
2 その他	25
第二部 提出会社の保証会社等の情報	25

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2018年2月13日
【四半期会計期間】	第20期第3四半期（自2017年10月1日 至2017年12月31日）
【会社名】	SBIホールディングス株式会社
【英訳名】	SBI Holdings, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役 執行役員社長 北尾 吉孝
【本店の所在の場所】	東京都港区六本木一丁目6番1号
【電話番号】	(03) 6229-0100 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役 執行役員専務 森田 俊平
【最寄りの連絡場所】	東京都港区六本木一丁目6番1号
【電話番号】	(03) 6229-0100 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役 執行役員専務 森田 俊平
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第19期 前第3四半期累計	第20期 当第3四半期累計	第19期 前期
会計期間	自2016年4月1日 至2016年12月31日	自2017年4月1日 至2017年12月31日	自2016年4月1日 至2017年3月31日
収益 (第3四半期) (百万円)	193,570 (72,286)	247,125 (105,446)	261,939
税引前利益 (百万円)	33,405	50,623	43,139
親会社の所有者に帰属する四半期 (当期) 利益 (百万円) (第3四半期)	25,134 (10,940)	36,465 (16,080)	32,455
親会社の所有者に帰属する四半期 (当期) 包括利益 (百万円)	24,039	47,753	38,082
親会社の所有者に帰属する持分 (百万円)	368,757	432,163	377,992
総資産額 (百万円)	3,477,215	4,331,537	3,850,001
基本的1株当たり四半期(当期)利 益(親会社の所有者に帰属) (第3四半期) (円)	123.09 (54.51)	174.54 (73.45)	159.38
希薄化後1株当たり四半期(当期) 利益(親会社の所有者に帰属) (円)	113.22	156.84	146.52
親会社所有者帰属持分比率 (%)	10.6	10.0	9.8
営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	25,408	5,927	△17,952
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	5,157	△166	2,437
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	5,406	△57,032	159,467
現金及び現金同等物の四半期末(期 末)残高 (百万円)	283,131	343,264	391,572

(注) 1. 当社は、国際会計基準に基づいて連結財務諸表を作成しております。

2. 収益には、消費税等は含まれておりません。

3. 本報告書においては、第3四半期連結会計期間を「第3四半期」、第3四半期連結累計期間を「第3四半期累計」、当連結会計年度を「当期」、前連結会計年度を「前期」と記載しております。

2【事業の内容】

当社、当社の子会社(2017年12月31日現在194社)及び持分法適用会社(同38社)から構成される当企業グループは、証券・銀行・保険を中心に金融商品や関連するサービスの提供等を行う「金融サービス事業」、国内外のIT、バイオ及び金融関連のベンチャー企業などへの投資や資産運用に関連するサービスの提供等を行う「アセットマネジメント事業」、医薬品、健康食品及び化粧品等の開発・販売を行う「バイオ関連事業」を中心に事業を行っております。

当第3四半期累計において、当企業グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

なお、前期まで「アセットマネジメント事業」に含めていた株式会社ブロードバンドセキュリティについては、当期の第1四半期から「金融サービス事業」に含めております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期累計において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前期の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当第3四半期末日現在において当企業グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期累計の経営成績につきましては、収益が247,125百万円（前年同期比27.7%増加）、税引前利益は50,623百万円（同51.5%増加）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は36,465百万円（同45.1%増加）となりました。

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、前期まで「アセットマネジメント事業」に含めていた株式会社ブロードバンドセキュリティについては、当期の第1四半期から「金融サービス事業」に含めております。このため、前第3四半期累計についても当期のセグメント構成にあわせて組み替えております。

	収益			税引前利益		
	前第3四半期 累計	当第3四半期 累計		前第3四半期 累計	当第3四半期 累計	
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
金融サービス事業	131,453	158,437	20.5	37,395	46,695	24.9
アセットマネジメント事業	57,920	86,895	50.0	9,653	43,056	346.0
バイオ関連事業	4,805	3,658	(23.9)	(5,947)	(31,553)	—
計	194,178	248,990	28.2	41,101	58,198	41.6
その他	674	419	(37.8)	(693)	(769)	—
消去又は全社	(1,282)	(2,284)	—	(7,003)	(6,806)	—
連結	193,570	247,125	27.7	33,405	50,623	51.5

(%表示は対前年同期増減率)

(金融サービス事業)

証券関連事業、銀行業、保険事業を中核とした多様な金融関連事業を行っております。

当第3四半期累計における収益は、158,437百万円（同20.5%増加）、税引前利益は46,695百万円（同24.9%増加）となりました。

(アセットマネジメント事業)

国内外のIT、バイオ及び金融関連のベンチャー企業等への投資に関する事業、海外における金融サービス事業及び金融商品の情報提供等を行う資産運用サービス事業を行っております。

当第3四半期累計における収益は、86,895百万円（同50.0%増加）、税引前利益は43,056百万円（同346.0%増加）となりました。

(バイオ関連事業)

生体内に存在するアミノ酸の一種である5-アミノレブリン酸(ALA)(※)を活用した医薬品・健康食品・化粧品の開発・販売や、がん及び免疫分野等における抗体医薬・核酸医薬の研究開発に関する事業を行っております。

当第3四半期累計における収益は、3,658百万円(同23.9%減少)、税引前利益は31,553百万円の損失(前年同期は5,947百万円の損失)となりました。

(※)5-アミノレブリン酸(ALA)とは、体内のミトコンドリアで作られるアミノ酸で、ヘムやシトクロムと呼ばれるエネルギー生産に関与するたんぱく質の原料となる重要な物質ですが、加齢に伴い生産性が低下することが知られています。ALAは、焼酎粕やホウイン、高麗人参等の食品にも含まれるほか、植物の葉緑体原料としても知られています。

(2) 財政状態及びキャッシュ・フローの状況

当第3四半期末の総資産は4,331,537百万円となり、前期末の3,850,001百万円から481,536百万円の増加となりました。また、資本は前期末に比べ69,307百万円増加し、484,831百万円となりました。

なお、当第3四半期末の現金及び現金同等物残高は343,264百万円となり、前期末の391,572百万円から48,308百万円の減少となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、5,927百万円の収入(前第3四半期累計は25,408百万円の収入)となりました。これは主に、「証券業関連資産及び負債の増減」が67,271百万円の支出及び「営業債権及びその他の債権の増減」が46,293百万円の支出となった一方で、「営業債務及びその他の債務の増減」が87,119百万円の収入及び「税引前利益」が50,623百万円となったこと等の要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、166百万円の支出(前第3四半期累計は5,157百万円の収入)となりました。これは主に、「投資有価証券の売却及び償還による収入」が37,114百万円となった一方で、「投資有価証券の取得による支出」が32,692百万円及び「貸付による支出」が10,593百万円となったこと等の要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、57,032百万円の支出(前第3四半期累計は5,406百万円の収入)となりました。これは主に、「社債の発行による収入」が86,580百万円となった一方で、「短期借入金の純増減」が129,834百万円の支出となったこと等の要因によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期累計において、当企業グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期累計における当企業グループの研究開発費は、5,818百万円であります。なお、当第3四半期累計において、当企業グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 従業員数

当第3四半期末における当企業グループの従業員数は前期末と比べ764人増加し、5,219人となりました。これは主に、アセットマネジメント事業において、海外における金融サービス事業を行う企業を取得したことによるものであります。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	341,690,000
計	341,690,000

②【発行済株式】

種類	第3四半期末現在 発行数(株) (2017年12月31日)	提出日現在発行数(株) (2018年2月13日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引 業協会名	内容
普通株式	224,561,761	224,561,761	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	224,561,761	224,561,761	—	—

(注) 「提出日現在発行数」欄には、2018年2月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高(百万円)
2017年10月1日～ 2017年12月31日	—	224,561,761	—	81,681	—	126,792

(6)【大株主の状況】

当四半期は第3四半期であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2017年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

2017年12月31日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	普通株式 7,479,000	—	—
完全議決権株式 (その他)	普通株式 213,983,500	2,139,835	—
単元未満株式	普通株式 3,099,261	—	—
発行済株式総数	224,561,761	—	—
総株主の議決権	—	2,139,835	—

(注) 「完全議決権株式 (その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が4,600株含まれております。また、「議決権の数」の欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数46個が含まれております。

② 【自己株式等】

2017年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数 (株)	他人名義所有株式数 (株)	所有株式数の合計 (株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合 (%)
SBIホールディングス株式会社	東京都港区六本木一丁目6番1号	7,479,000	—	7,479,000	3.33
計	—	7,479,000	—	7,479,000	3.33

(注) 上記のほか、株主名簿上は当社名義となっておりますが実質的に所有していない株式が500株（議決権の数5個）あります。なお、当該株式数は上記①「発行済株式」の「完全議決権株式 (その他)」の欄に含まれております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 要約四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の要約四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下、四半期連結財務諸表規則）第93条の規定により、国際会計基準（IAS）第34号「期中財務報告」（以下、IAS第34号）に準拠して作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2017年10月1日から2017年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2017年4月1日から2017年12月31日まで）に係る要約四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【要約四半期連結財務諸表】

(1) 【要約四半期連結財政状態計算書】

注記	前期末 (2017年3月31日)	当第3四半期末 (2017年12月31日)
	百万円	百万円
資産		
現金及び現金同等物	391,572	343,264
営業債権及びその他の債権	5 472,128	549,280
証券業関連資産		
預託金	1,399,851	1,646,115
信用取引資産	617,550	693,621
その他の証券業関連資産	315,640	408,220
証券業関連資産計	5 2,333,041	2,747,956
その他の金融資産	30,050	33,137
営業投資有価証券	5 111,067	158,485
その他の投資有価証券	5 186,512	190,163
持分法で会計処理されている投資	90,394	73,167
投資不動産	7,105	2,327
有形固定資産	10,498	11,733
無形資産	185,493	186,013
その他の資産	28,392	35,489
繰延税金資産	3,749	523
資産合計	3,850,001	4,331,537
負債		
社債及び借入金	5 518,977	448,146
営業債務及びその他の債務	5 52,887	141,896
証券業関連負債		
信用取引負債	135,698	156,937
有価証券担保借入金	399,673	465,587
顧客からの預り金	738,144	893,290
受入保証金	600,621	718,824
その他の証券業関連負債	304,476	291,597
証券業関連負債計	5 2,178,612	2,526,235
顧客預金	5 485,827	538,106
保険契約負債	147,573	144,657
未払法人所得税	10,040	5,344
その他の金融負債	14,663	16,795
その他の負債	11,946	12,356
繰延税金負債	13,952	13,171
負債合計	3,434,477	3,846,706
資本		
資本金	9 81,681	81,681
資本剰余金	128,004	127,693
自己株式	9 (23,801)	(5,671)
その他の資本の構成要素	22,720	34,008
利益剰余金	169,388	194,452
親会社の所有者に帰属する持分合計	377,992	432,163
非支配持分	37,532	52,668
資本合計	415,524	484,831
負債・資本合計	3,850,001	4,331,537

(2) 【要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書】

【要約四半期連結損益計算書】

【第3四半期累計】

	注記	前第3四半期累計 (自2016年4月1日 至2016年12月31日)	当第3四半期累計 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)
		百万円	百万円
収益	6, 7	193, 570	247, 125
費用			
金融収益に係る金融費用	8	(10, 601)	(13, 450)
売上原価		(71, 058)	(81, 966)
販売費及び一般管理費		(71, 068)	(73, 107)
その他の金融費用	8	(2, 678)	(2, 638)
その他の費用		(7, 103)	(27, 157)
費用合計		(162, 508)	(198, 318)
持分法による投資利益		2, 343	1, 816
税引前利益	6	33, 405	50, 623
法人所得税費用		(11, 528)	(9, 481)
四半期利益		21, 877	41, 142
四半期利益の帰属			
親会社の所有者		25, 134	36, 465
非支配持分		(3, 257)	4, 677
四半期利益		21, 877	41, 142
1株当たり四半期利益 (親会社の所有者に帰属)			
基本的 (円)	11	123.09	174.54
希薄化後 (円)	11	113.22	156.84

【第3四半期】

	注記	前第3四半期	当第3四半期
		(自2016年10月1日 至2016年12月31日)	(自2017年10月1日 至2017年12月31日)
		百万円	百万円
収益	6, 7	72, 286	105, 446
費用			
金融収益に係る金融費用	8	(4, 020)	(5, 156)
売上原価		(25, 724)	(29, 107)
販売費及び一般管理費		(23, 748)	(25, 826)
その他の金融費用	8	(785)	(789)
その他の費用		(2, 272)	(22, 193)
費用合計		(56, 549)	(83, 071)
持分法による投資利益		382	511
税引前利益	6	16, 119	22, 886
法人所得税費用		(4, 351)	(852)
四半期利益		11, 768	22, 034
四半期利益の帰属			
親会社の所有者		10, 940	16, 080
非支配持分		828	5, 954
四半期利益		11, 768	22, 034
1株当たり四半期利益 (親会社の所有者に帰属)			
基本的 (円)	11	54. 51	73. 45
希薄化後 (円)	11	49. 82	64. 58

【要約四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期累計】

注記	前第3四半期累計 (自2016年4月1日 至2016年12月31日)	当第3四半期累計 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)
	百万円	百万円
四半期利益	21,877	41,142
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	53	757
純損益に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	(1,971)	9,734
持分法適用会社のその他の包括利益に 対する持分	(175)	869
税引後その他の包括利益	(2,093)	11,360
四半期包括利益	19,784	52,502
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	24,039	47,753
非支配持分	(4,255)	4,749
四半期包括利益	19,784	52,502

【第3四半期】

注記	前第3四半期 (自2016年10月1日 至2016年12月31日)	当第3四半期 (自2017年10月1日 至2017年12月31日)
	百万円	百万円
四半期利益	11,768	22,034
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	61	2
純損益に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	12,029	11,935
持分法適用会社のその他の包括利益に 対する持分	546	480
税引後その他の包括利益	12,636	12,417
四半期包括利益	24,404	34,451
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	24,498	28,436
非支配持分	(94)	6,015
四半期包括利益	24,404	34,451

(3) 【要約四半期連結持分変動計算書】

前第3四半期累計（自2016年4月1日 至2016年12月31日）

		親会社の所有者に帰属する持分							
注記	資本金	資本 剰余金	自己株式	その他の 資本の構 成要素	利益 剰余金	合計	非支配 持分	資本合計	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2016年4月1日残高	81,681	145,735	(19,132)	17,107	146,199	371,590	47,473	419,063	
四半期利益	—	—	—	—	25,134	25,134	(3,257)	21,877	
その他の包括利益	—	—	—	(1,095)	—	(1,095)	(998)	(2,093)	
四半期包括利益合計	—	—	—	(1,095)	25,134	24,039	(4,255)	19,784	
連結範囲の変動	—	(4)	—	—	—	(4)	(1,303)	(1,307)	
剰余金の配当	10	—	—	—	(9,280)	(9,280)	(21,230)	(30,510)	
自己株式の取得	9	—	(8,012)	—	—	(8,012)	—	(8,012)	
自己株式の処分	9	—	36	621	—	657	—	657	
支配喪失を伴わない子会社に 対する所有者持分の変動	—	(10,233)	—	—	—	(10,233)	17,921	7,688	
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	—	(1)	1	—	—	—	
2016年12月31日残高	81,681	135,534	(26,523)	16,011	162,054	368,757	38,606	407,363	

当第3四半期累計（自2017年4月1日 至2017年12月31日）

		親会社の所有者に帰属する持分							
注記	資本金	資本 剰余金	自己株式	その他の 資本の構 成要素	利益 剰余金	合計	非支配 持分	資本合計	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2017年4月1日残高	81,681	128,004	(23,801)	22,720	169,388	377,992	37,532	415,524	
四半期利益	—	—	—	—	36,465	36,465	4,677	41,142	
その他の包括利益	—	—	—	11,288	—	11,288	72	11,360	
四半期包括利益合計	—	—	—	11,288	36,465	47,753	4,749	52,502	
転換社債型新株予約権付社債 の発行	—	1,716	—	—	—	1,716	—	1,716	
転換社債型新株予約権付社債 の転換	9	—	4,111	25,889	—	30,000	—	30,000	
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	—	399	399	
剰余金の配当	10	—	—	—	(11,401)	(11,401)	(2,658)	(14,059)	
自己株式の取得	9	—	(9,624)	—	—	(9,624)	—	(9,624)	
自己株式の処分	9	—	71	1,865	—	1,936	—	1,936	
株式に基づく報酬取引	—	305	—	—	—	305	—	305	
支配喪失を伴わない子会社に 対する所有者持分の変動	—	(6,514)	—	—	—	(6,514)	12,646	6,132	
2017年12月31日残高	81,681	127,693	(5,671)	34,008	194,452	432,163	52,668	484,831	

(4) 【要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

注記	前第3四半期累計 (自2016年4月1日 至2016年12月31日)	当第3四半期累計 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	33,405	50,623
減価償却費及び償却費	7,860	8,247
持分法による投資利益	(2,343)	(1,816)
受取利息及び受取配当金	(58,637)	(78,705)
支払利息	13,279	16,088
営業投資有価証券の増減	(18,776)	(45,054)
営業債権及びその他の債権の増減	(74,821)	(46,293)
営業債務及びその他の債務の増減	47,677	87,119
証券業関連資産及び負債の増減	1,743	(67,271)
顧客預金の増減	57,042	19,434
その他	(15,260)	13,853
小計	(8,831)	(43,775)
利息及び配当金の受取額	58,332	77,494
利息の支払額	(11,485)	(14,890)
法人所得税の支払額	(12,608)	(12,902)
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,408	5,927

注記	前第3四半期累計 (自2016年4月1日 至2016年12月31日)	当第3四半期累計 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)
	百万円	百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー		
無形資産の取得による支出	(4,156)	(5,193)
投資有価証券の取得による支出	(57,190)	(32,692)
投資有価証券の売却及び償還による収入	51,307	37,114
子会社の取得による支出	(1,968)	33
子会社の売却による収入	3,344	870
貸付による支出	(3,969)	(10,593)
貸付金の回収による収入	5,197	6,552
債券貸借取引受入担保金の純増減額	3,311	—
その他	9,281	3,743
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,157	(166)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	505	(129,834)
長期借入による収入	29,969	10,373
長期借入金の返済による支出	(23,722)	(1,411)
社債の発行による収入	80,887	86,580
社債の償還による支出	(53,620)	(4,906)
非支配持分からの払込みによる収入	212	50
投資事業組合等における非支配持分からの出資受入による収入	11,659	6,097
配当金の支払額	(9,230)	(11,350)
非支配持分への配当金の支払額	(378)	(409)
投資事業組合等における非支配持分への分配金支払額	(20,885)	(2,249)
自己株式の取得による支出	(8,012)	(9,624)
非支配持分への子会社持分売却による収入	30	218
非支配持分からの子会社持分取得による支出	(2,272)	(156)
その他	263	(411)
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,406	(57,032)
現金及び現金同等物の増減額	35,971	(51,271)
現金及び現金同等物の期首残高	248,050	391,572
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	(890)	2,963
現金及び現金同等物の四半期末残高	283,131	343,264

【要約四半期連結財務諸表注記】

1 報告企業

SBIホールディングス株式会社（以下、当社）は日本に所在する企業であります。当社の要約四半期連結財務諸表は、当社及び子会社（以下、当企業グループ）、並びに当企業グループの関連会社及び共同支配企業に対する持分により構成されております。当企業グループは、金融サービス事業、アセットマネジメント事業及びバイオ関連事業を主要3事業として多様な事業活動を行っております。各事業の内容については、「6 事業セグメント」に記載しております。

2 作成の基礎

当企業グループの要約四半期連結財務諸表は、四半期連結財務諸表規則第1条の2に掲げる「指定国際会計基準特定会社」の要件を満たすことから、四半期連結財務諸表規則第93条の規定により、国際会計基準に準拠して作成しております。

要約四半期連結財務諸表はIAS第34号に準拠して作成しており、年次の連結財務諸表で要求されている全ての情報が含まれていないため、前期の連結財務諸表と併せて利用されるべきものであります。

本要約四半期連結財務諸表は、2018年2月8日に代表取締役執行役員社長 北尾吉孝及び最高財務責任者である取締役執行役員専務 森田俊平によって承認されております。

3 重要な会計方針

当企業グループが本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下の新たに適用する基準を除き、前期の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

当企業グループは、当期の第1四半期より以下の基準を適用しております。当該基準の適用において、本要約四半期連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

基準書

新設・改訂の概要

IAS第7号	キャッシュ・フロー計算書	財務活動から生じる負債の変動に関する開示の追加要求
--------	--------------	---------------------------

4 見積り及び判断の利用

要約四半期連結財務諸表の作成において、経営者は、資産、負債、収益及び費用の報告額に影響を及ぼす見積り、判断及び仮定の設定を行う必要があります。しかし、その性質上、実際の結果はこれらの見積りと異なる可能性があります。

見積り及び基礎となる仮定は継続的に見直しております。これらの見積り及び仮定の見直しによる影響は、その見直した期間及びそれ以降の期間において認識しております。

本要約四半期連結財務諸表で認識する金額に重要な影響を与える見積り及び判断は、前期の連結財務諸表と同様であります。

5 金融商品の公正価値

(1) 公正価値の算定方法

本要約四半期連結財務諸表における金融資産及び金融負債の公正価値の算定方法は、前期の連結財務諸表における公正価値の算定方法と同一であります。

(2) 金融商品の分類及び公正価値

金融資産の分類及び公正価値は次のとおりであります。

前期末（2017年3月31日）

	帳簿価額				公正価値
	FVTPLの 金融資産	FVTOCIの 金融資産	償却原価で 測定される 金融資産	合計	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
営業債権及びその他の債権	—	—	472,128	472,128	477,051
証券業関連資産	22,816	—	2,310,225	2,333,041	2,333,041
営業投資有価証券	111,067	—	—	111,067	111,067
その他の投資有価証券	107,853	1,243	77,416	186,512	187,680
合計	241,736	1,243	2,859,769	3,102,748	3,108,839

当第3四半期末（2017年12月31日）

	帳簿価額				公正価値
	FVTPLの 金融資産	FVTOCIの 金融資産	償却原価で 測定される 金融資産	合計	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
営業債権及びその他の債権	—	—	549,280	549,280	551,863
証券業関連資産	63,558	—	2,684,398	2,747,956	2,747,956
営業投資有価証券	158,485	—	—	158,485	158,485
その他の投資有価証券	117,397	2,362	70,404	190,163	191,907
合計	339,440	2,362	3,304,082	3,645,884	3,650,211

金融負債の分類及び公正価値は次のとおりであります。

前期末（2017年3月31日）

	帳簿価額			公正価値
	FVTPLの 金融負債	償却原価で 測定される 金融負債	合計	
	百万円	百万円	百万円	百万円
社債及び借入金	—	518,977	518,977	518,887
営業債務及びその他の債務	2,118	50,769	52,887	53,013
証券業関連負債	51,854	2,126,758	2,178,612	2,178,612
顧客預金	—	485,827	485,827	485,997
合計	53,972	3,182,331	3,236,303	3,236,509

当第3四半期末（2017年12月31日）

	帳簿価額			公正価値
	FVTPLの 金融負債	償却原価で 測定される 金融負債	合計	
	百万円	百万円	百万円	百万円
社債及び借入金	—	448,146	448,146	448,228
営業債務及びその他の債務	2,039	139,857	141,896	142,027
証券業関連負債	60,174	2,466,061	2,526,235	2,526,235
顧客預金	—	538,106	538,106	538,256
合計	62,213	3,592,170	3,654,383	3,654,746

(3) 公正価値ヒエラルキーのレベル別分類

IFRS第13号「公正価値測定」は、公正価値の測定に利用するインプットの重要性を反映させた公正価値のヒエラルキーを用いて、公正価値の測定を分類することを要求しております。

公正価値のヒエラルキーは、以下のレベルとなっております。

- ・レベル1：活発な市場における同一資産・負債の市場価格
- ・レベル2：直接的又は間接的に観察可能な、公表価格以外の価格で構成されたインプット
- ・レベル3：観察不能な価格を含むインプット

公正価値の測定に使用される公正価値のヒエラルキーのレベルは、その公正価値の測定にとって重要なインプットのうち、最も低いレベルにより決定しております。

また、レベル間の振替につきましては、振替を生じさせた事象又は状況の変化の日に認識しております。連結財政状態計算書又は要約四半期連結財政状態計算書において、公正価値で測定される金融資産及び金融負債の公正価値のヒエラルキーごとの分類は次のとおりであります。

	前期末（2017年3月31日）			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
	百万円	百万円	百万円	百万円
金融資産				
証券業関連資産	22,816	—	—	22,816
営業投資有価証券及び その他の投資有価証券				
FVTPLの金融資産	96,206	614	122,100	218,920
FVTOCIの金融資産	20	—	1,223	1,243
金融資産合計	119,042	614	123,323	242,979
金融負債				
営業債務及びその他の債務	—	—	2,118	2,118
証券業関連負債	51,854	—	—	51,854
金融負債合計	51,854	—	2,118	53,972

当第3四半期末（2017年12月31日）

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
	百万円	百万円	百万円	百万円
金融資産				
証券業関連資産	63,558	—	—	63,558
営業投資有価証券及び その他の投資有価証券				
FVTPLの金融資産	96,404	511	178,967	275,882
FVTOCIの金融資産	1,816	—	546	2,362
金融資産合計	161,778	511	179,513	341,802
金融負債				
営業債務及びその他の債務	—	—	2,039	2,039
証券業関連負債	60,174	—	—	60,174
金融負債合計	60,174	—	2,039	62,213

(4) レベル3に分類される金融商品

レベル3に分類される金融商品については、取締役会に報告された評価方針及び手続きに基づき、外部の評価専門家又は適切な評価担当者が評価の実施及び評価結果の分析を行っております。

評価結果は、財務経理担当役員及び財務経理部門責任者によりレビューされ、承認されております。

公正価値ヒエラルキーのレベル3に分類される金融商品について、経常的な公正価値測定に用いた評価技法及び重要な観察可能でないインプットに関する情報は次のとおりであります。

前期末（2017年3月31日）

公正価値	評価技法	観察可能でない インプット	範囲	
百万円				
営業投資有価証券及び その他の投資有価証券	123,323	インカムアプローチ 及び マーケットアプローチ	割引率 株価収益率 EBITDA倍率 非流動性ディスカウント	5%～10% 9.8倍～30.4倍 7.9倍～24.8倍 10%～30%

当第3四半期末（2017年12月31日）

公正価値	評価技法	観察可能でない インプット	範囲	
百万円				
営業投資有価証券及び その他の投資有価証券	179,513	インカムアプローチ 及び マーケットアプローチ	割引率 株価収益率 EBITDA倍率 非流動性ディスカウント	12%～16% 18.8倍～45.2倍 25.0倍～40.0倍 10%～20%

経常的に公正価値で測定するレベル3に分類される金融商品の公正価値のうち、インカムアプローチ及びマーケットアプローチで評価される「営業投資有価証券」及び「その他の投資有価証券」の公正価値は、割引率の上昇（下落）により減少（増加）し、株価収益率の上昇（下落）により増加（減少）し、EBITDA倍率の上昇（下落）により増加（減少）し、非流動性ディスカウントの上昇（下落）により減少（増加）いたします。

レベル3に分類される金融商品について、インプットがそれぞれ合理的に考え得る代替的な仮定に変更した場合の公正価値の著しい増減は想定されておりません。

レベル3に分類される金融資産及び金融負債の増減は次のとおりであります。

前第3四半期累計（自2016年4月1日 至2016年12月31日）

	金融資産			金融負債
	営業投資有価証券及び その他の投資有価証券		合計	営業債務 及び その他の債務
	FVTPLの金融資産	FVTOCIの金融資産		
	百万円	百万円	百万円	百万円
2016年4月1日残高	109,708	1,122	110,830	1,987
企業結合による取得 購入	29	—	29	200
	23,964	—	23,964	—
四半期包括利益				
四半期利益（注）1	(2,701)	—	(2,701)	—
その他の包括利益（注）2	—	83	83	—
分配等	(3,159)	—	(3,159)	—
売却及び償還等	(10,832)	(11)	(10,843)	—
決済等	—	—	—	(69)
在外営業活動体の換算差額	25	(3)	22	—
その他（注）3	906	—	906	—
レベル3からの振替（注）4	(3,321)	—	(3,321)	—
2016年12月31日残高	114,619	1,191	115,810	2,118

当第3四半期累計（自2017年4月1日 至2017年12月31日）

	金融資産			金融負債
	営業投資有価証券及び その他の投資有価証券		合計	営業債務 及び その他の債務
	FVTPLの金融資産	FVTOCIの金融資産		
	百万円	百万円	百万円	百万円
2017年4月1日残高	122,100	1,223	123,323	2,118
企業結合による取得 購入	—	—	—	—
	37,362	—	37,362	—
四半期包括利益				
四半期利益（注）1	28,415	—	28,415	—
その他の包括利益（注）2	—	(118)	(118)	—
分配等	(3,345)	—	(3,345)	—
売却及び償還等	(2,751)	—	(2,751)	—
決済等	—	—	—	(79)
在外営業活動体の換算差額	1,809	20	1,829	—
その他（注）3	—	—	—	—
レベル3からの振替（注）4	(4,623)	(579)	(5,202)	—
2017年12月31日残高	178,967	546	179,513	2,039

- （注）1. 四半期利益として認識された利得又は損失は、要約四半期連結損益計算書の「収益」に含まれております。なお、当該利得又は損失のうち、前四半期末及び当四半期末に保有するFVTPLの金融資産に起因するものは、それぞれ1,788百万円及び27,607百万円の利得であります。
2. その他の包括利益として認識された利得又は損失は、要約四半期連結包括利益計算書の「その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産」に含まれております。
3. 主に支配獲得又は支配喪失による振替であります。
4. 公正価値の測定に使用する重要なインプットが観察可能となったことによる振替であります。

(5) 投資ポートフォリオ

営業投資有価証券及びその他の投資有価証券の内訳は次のとおりであります。

	前期末 (2017年3月31日)	当第3四半期末 (2017年12月31日)
	百万円	百万円
営業投資有価証券		
上場株式	17,212	25,166
非上場株式	66,749	103,945
公社債等	4,602	6,865
ファンド等への出資	22,504	22,509
合計	111,067	158,485
その他の投資有価証券		
上場株式	133	2,137
非上場株式	5,020	4,055
公社債等	94,717	87,568
ファンド等への出資	86,642	96,403
合計	186,512	190,163

6 事業セグメント

当企業グループは、インターネットを通じた金融に関する事業や国内外への投資に関する事業を中核に据えた総合金融グループとして事業を展開しており、これらに21世紀の成長産業として期待されるバイオ関連事業を加えた主要3事業を報告セグメントとしております。

当企業グループの報告セグメントは、当企業グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、最高経営意思決定機関である取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

報告セグメントの主な事業内容は、次のとおりであります。

(金融サービス事業)

証券関連事業、銀行業、保険事業を中核とした多様な金融関連事業を行っております。

(アセットマネジメント事業)

国内外のIT、バイオ及び金融関連のベンチャー企業等への投資に関する事業、海外における金融サービス事業及び金融商品の情報提供等を行う資産運用サービス事業を行っております。

(バイオ関連事業)

生体内に存在するアミノ酸の一種である5-アミノレブリン酸(ALA)を活用した医薬品・健康食品・化粧品の開発・販売や、がん及び免疫分野等における抗体医薬・核酸医薬の研究開発に関する事業を行っております。

その他には、不動産事業及び仮想通貨事業などが含まれておりますが、当第3四半期累計の報告セグメントと定義付けるための定量的な基準値を満たしておりません。

消去又は全社には、特定の事業セグメントに配賦されない損益及びセグメント間の内部取引消去が含まれております。なお、セグメント間の内部取引価格は市場実勢価格に基づいております。

当企業グループの報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、前期まで「アセットマネジメント事業」に含めていた株式会社ブロードバンドセキュリティについては、当期の第1四半期から「金融サービス事業」に含めております。このため、前第3四半期累計及び前第3四半期についても当期のセグメント構成にあわせて組み替えております。

前第3四半期累計（自2016年4月1日 至2016年12月31日）

	金融サービス事業	アセットマネジメント事業	バイオ関連事業	計	その他	消去又は 全社	連結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
収益	131,453	57,920	4,805	194,178	674	(1,282)	193,570
税引前利益	37,395	9,653	(5,947)	41,101	(693)	(7,003)	33,405

当第3四半期累計（自2017年4月1日 至2017年12月31日）

	金融サービス事業	アセットマネジメント事業	バイオ関連事業	計	その他	消去又は 全社	連結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
収益	158,437	86,895	3,658	248,990	419	(2,284)	247,125
税引前利益	46,695	43,056	(31,553)	58,198	(769)	(6,806)	50,623

前第3四半期（自2016年10月1日 至2016年12月31日）

	金融サービス事業	アセットマネジメント事業	バイオ関連事業	計	その他	消去又は 全社	連結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
収益	46,508	22,975	2,778	72,261	321	(296)	72,286
税引前利益	12,131	6,741	(769)	18,103	(151)	(1,833)	16,119

当第3四半期（自2017年10月1日 至2017年12月31日）

	金融サービス事業	アセットマネジメント事業	バイオ関連事業	計	その他	消去又は 全社	連結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
収益	55,695	48,707	1,798	106,200	135	(889)	105,446
税引前利益	17,053	31,477	(22,949)	25,581	(441)	(2,254)	22,886

バイオ関連事業において、一部の無形資産及び関連会社に対する投資について回収可能額が帳簿価額を下回ったため、当第3四半期累計24,242百万円、当第3四半期21,139百万円の減損損失を認識しております。

7 収益

収益の内訳は次のとおりであります。

	前第3四半期累計 (自2016年4月1日 至2016年12月31日)	当第3四半期累計 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)
	百万円	百万円
収益		
金融収益		
受取利息 (注)	57,789	75,503
受取配当金	1,051	2,944
FVTPLの金融資産から生じる収益	6,744	39,147
トレーディング損益	13,811	13,017
その他	—	100
金融収益合計	79,395	130,711
保険契約から生じる収益	38,710	47,276
役務の提供等による収益	51,638	59,411
その他	23,827	9,727
収益合計	193,570	247,125

(注) 金融収益の受取利息は、償却原価で測定される金融資産から生じるものであります。

	前第3四半期 (自2016年10月1日 至2016年12月31日)	当第3四半期 (自2017年10月1日 至2017年12月31日)
	百万円	百万円
収益		
金融収益		
受取利息 (注)	20,599	27,796
受取配当金	393	1,208
FVTPLの金融資産から生じる収益	9,005	30,579
トレーディング損益	5,149	4,812
その他	—	69
金融収益合計	35,146	64,464
保険契約から生じる収益	12,121	15,643
役務の提供等による収益	17,701	21,401
その他	7,318	3,938
収益合計	72,286	105,446

(注) 金融収益の受取利息は、償却原価で測定される金融資産から生じるものであります。

8 金融費用

金融費用の内訳は次のとおりであります。

	前第3四半期累計 (自2016年4月1日 至2016年12月31日)	当第3四半期累計 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)
	百万円	百万円
金融収益に係る金融費用		
支払利息		
償却原価で測定される金融負債	(10,601)	(13,450)
金融収益に係る金融費用合計	(10,601)	(13,450)
その他の金融費用		
支払利息		
償却原価で測定される金融負債	(2,678)	(2,638)
その他の金融費用合計	(2,678)	(2,638)
	前第3四半期 (自2016年10月1日 至2016年12月31日)	当第3四半期 (自2017年10月1日 至2017年12月31日)
	百万円	百万円
金融収益に係る金融費用		
支払利息		
償却原価で測定される金融負債	(4,020)	(5,156)
金融収益に係る金融費用合計	(4,020)	(5,156)
その他の金融費用		
支払利息		
償却原価で測定される金融負債	(785)	(789)
その他の金融費用合計	(785)	(789)

9 資本金及び自己株式

当社の発行済株式総数は次のとおりであります。

	前第3四半期累計 (自2016年4月1日 至2016年12月31日)	当第3四半期累計 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)
	株	株
発行済株式総数		
期首	224,561,761	224,561,761
期中増減	—	—
四半期末	224,561,761	224,561,761

また、上記の発行済株式総数に含まれる自己株式数は次のとおりであります。

	前第3四半期累計 (自2016年4月1日 至2016年12月31日)	当第3四半期累計 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)
	株	株
自己株式数		
期首	17,211,580	20,954,080
期中増加(注)1、2	6,864,700	6,335,981
期中減少(注)3、4	(724,320)	(22,673,175)
四半期末	23,351,960	4,616,886

- (注) 1. 前第3四半期累計の期中増加は、単元未満株式の買取請求による取得9,100株及び日本における会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく自己株式の取得6,855,600株であります。
2. 当第3四半期累計の期中増加は、単元未満株式の買取請求による取得17,481株及び日本における会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく自己株式の取得6,318,500株であります。
3. 前第3四半期累計の期中減少は、単元未満株式の売渡請求による売却780株、ストック・オプションとしての新株予約権の権利行使への充当327,900株、並びに、株式給付信託(従業員持株会処分型)による従業員持株会への売却44,600株及び市場売却351,040株であります。
4. 当第3四半期累計の期中減少は、単元未満株式の売渡請求による売却550株、ストック・オプションとしての新株予約権の権利行使への充当1,544,400株及び転換社債型新株予約権付社債の転換への充当21,128,225株であります。

10 配当

配当金の支払額は次のとおりであります。

前第3四半期累計(自2016年4月1日 至2016年12月31日)

	株式の種類	配当金の総額 百万円	1株当たり 配当額 円	基準日	効力発生日
2016年4月28日 取締役会決議	普通株式	7,271	35	2016年3月31日	2016年6月9日
2016年10月27日 取締役会決議	普通株式	2,009	10	2016年9月30日	2016年12月12日

当第3四半期累計(自2017年4月1日 至2017年12月31日)

	株式の種類	配当金の総額 百万円	1株当たり 配当額 円	基準日	効力発生日
2017年4月28日 取締役会決議	普通株式	8,144	40	2017年3月31日	2017年6月9日
2017年10月26日 取締役会決議	普通株式	3,256	15	2017年9月30日	2017年12月11日

11 1株当たり四半期利益

親会社の所有者に帰属する基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益は次の情報に基づいて算定しております。

	前第3四半期累計 (自2016年4月1日 至2016年12月31日)	当第3四半期累計 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)
	百万円	百万円
親会社の所有者に帰属する四半期利益		
基本的	25,134	36,465
調整：転換社債型新株予約権付社債	321	358
希薄化後	25,455	36,823
加重平均株式数	株	株
基本的	204,185,932	208,919,606
調整：ストック・オプション	—	984,956
調整：転換社債型新株予約権付社債	20,645,516	24,878,487
希薄化後	224,831,448	234,783,049
1株当たり四半期利益（親会社の所有者に帰属）	円	円
基本的	123.09	174.54
希薄化後	113.22	156.84

	前第3四半期 (自2016年10月1日 至2016年12月31日)	当第3四半期 (自2017年10月1日 至2017年12月31日)
	百万円	百万円
親会社の所有者に帰属する四半期利益		
基本的	10,940	16,080
調整：転換社債型新株予約権付社債	113	72
希薄化後	11,053	16,152
加重平均株式数	株	株
基本的	200,708,709	218,918,288
調整：ストック・オプション	500,453	2,217,093
調整：転換社債型新株予約権付社債	20,645,516	28,969,623
希薄化後	221,854,678	250,105,004
1株当たり四半期利益（親会社の所有者に帰属）	円	円
基本的	54.51	73.45
希薄化後	49.82	64.58

(注) 逆希薄化効果を有するストック・オプションは、希薄化後1株当たり四半期利益の計算に含まれておりません。

12 後発事象

該当事項はありません。

2 【その他】

(剰余金の配当)

2017年10月26日開催の当社取締役会において、次のとおり2017年9月30日を基準日とする剰余金の中間配当を行うことを決議いたしました。

- | | |
|--------------|-------------|
| (1) 配当金の総額 | 3,256百万円 |
| (2) 1株当たりの金額 | 15円 |
| (3) 効力発生日 | 2017年12月11日 |
| (4) 配当の原資 | 利益剰余金 |

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2018年2月9日

SBIホールディングス株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 望月明美 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 國本 望 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているSBIホールディングス株式会社の2017年4月1日から2018年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2017年10月1日から2017年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間

（2017年4月1日から2017年12月31日まで）に係る要約四半期連結財務諸表、すなわち、要約四半期連結財政状態計算書、要約四半期連結損益計算書、要約四半期連結包括利益計算書、要約四半期連結持分変動計算書、要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

要約四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第93条の規定により国際会計基準第34号「期中財務報告」に準拠して要約四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない要約四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から要約四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の要約四半期連結財務諸表が、国際会計基準第34号「期中財務報告」に準拠して、SBIホールディングス株式会社及び連結子会社の2017年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。